

# 平成 29 年度の事業報告書

平成 29 年 11 月 1 日から平成 30 年 10 月 31 日まで

特定非営利活動法人  
千葉大学環境 I S O 学生委員会

## 1. 事業の成果

本年度の事業の成果として、以下の 3 点を特筆すべき事項として挙げる。

### I. eco 教室事業において、スゴロク形式の教材を作成し、実際にワークショップの題材として活用したこと。

eco 教室事業は小中学生を対象とした環境に関する出張授業である。平成 22 年度より継続して実施してきた本事業では、各種企業から環境ラベル付きの商品を教材として提供していただいております。三菱製紙販売株式会社からも SFC マークのついた鉛筆などの教材を提供していただいております。本年度はそれに加え、買い物をする時の商品の選択基準や付加価値を題材としたスゴロクを作成し、eco 教室にて実際に活用することができた。これにより、「環境に配慮した商品選択」についてより実践的な学習を提供できた。

### II. 環境活動推進事業において、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 (QST) が発行する環境報告書の第三者意見執筆を行ったこと。

QST は千葉大学西千葉キャンパス付近に立地する放射線医学総合研究所と日本原子力研究開発機構の一部が再編統合され、平成 28 年 4 月 1 日に新たに発足した国立研究開発法人である。この再編統合により環境配慮促進法の定める特定事業者となり、毎年度の環境報告書の発行義務が課される次第となった。弊法人では環境活動推進事業の一環として環境報告書の第三者意見執筆を行っており、前年度に引き続き本年度も QST から依頼を受け、同機構の関西光科学研究所および那珂核融合研究所を視察した後、同機構が発行する 2018 年度環境報告書の第三者意見を執筆した。

### III. 植樹・里山 (高尾 100 年の森) 事業において親子向けイベントやユース対象の里山プログラムのファシリテーターとしての役割を担ったこと。

平成 27 年度から開始した植樹・里山 (高尾 100 年の森) 事業は、SG ホールディングス株式会社が東京都八王子市に保有する森林「高尾 100 年の森」において同社および複数の団体と共に里山管理・環境教育プログラムを実施する事業である。本年度は同社主催のプログラムにおいて弊法人がファシリテーター側として活動に関わり、昨年度より発展した内容の活動を行うことができた。

## 2. 事業の実施に関する事項

①他組織に対し環境マネジメントシステムの構築と運用に関する助言を行う事業

②他組織の環境報告書等に関わる提言を行う事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者の人数	受益対象者の (D)範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：円)
環境活動推進事業	千葉大学のEMSを主体的に運用してきたノウハウを活かし、企業や他団体の環境報告書作成及び環境活動のサポートをする。また、当法人会員がEMS運用について深い理解を得、発信していくことで、社会へ貢献する機会を作る。今年度は12月7～9日に東京ビッグサイトで行われたエコプロダクツを発端に通年で複数の環境イベントに出展した。また、2月に株式会社ダイナックスから全国のEMS規格に関連する依頼を受け、その委託事業に従事した。国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構が発行する環境報告書2018の第三者意見を執筆した。	(A) 営業活動： 12月7日、 12月8日、 12月9日、 その他通年 委託事業： 2月1日から3月31日 第三者意見執筆： 8月7日、 8月8日、 8月17日 (B) 千葉大学西千葉キャンパスなど (C) 2名	(D) 不特定多数 (E) 不特定多数	(収入) 1,031,158 *うち助成金 655,277 (支出) 148,292

③地域の活動と協力する環境保全事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者の人数	受益対象者の (D)範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：円)

植樹・里山事業（「K」LINEの森）	川崎汽船株式会社との里山活動協定に基づき、生態系の保全と環境の大切さを様々な人に感じてもらうことを目的として同社の社有林にて植樹活動や里山の管理活動を行う。今年度は身近な自然やネイチャーゲームなどを取り入れた里山教室を実施し、誰にでも親しみやすい環境教育を行った。なお、今年度は里山教室について千葉県環境財団の助成金を利用している。	(A) 里山活動： 11月3日、 11月17日、 12月14日、 1月27日、 3月31日 (B) 千葉県山武郡 芝山町 “K”LINEの 森 猿待塚 (C) 5名	(D) 川崎汽船株式会社、里山活動参加者 (E) 不特定多数	(収入) △117,018 *うち助成金返還 117,018 (支出) 20,822
植樹・里山（高尾100年の森）	SGホールディングス株式会社が保有する「高尾100年の森」において里山管理を行う。同社とNPO法人が主体となって、教育機関、地域住民の方やボランティアの方などと協同して里山管理をすることによって、参加者自らの手で森を再生する取り組みを進めている。今年度はSGホールディングス株式会社が主催する親子向けイベントやユース対象の里山プログラムにおけるファシリテーターとしての役割を担った。	(A) 10月14日、 10月20日、 1月14日、 3月21日、 5月20日、 6月16日 (B) 東京都八王子市「高尾百年の森」 (C) 3名	(D) 当該森林の周辺住民、イベント参加者 (E) 不特定多数	(収入) 0 (支出) 0

④環境に関する意識、知識の向上を促進する事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者の人数	受益対象者の (D) 範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：円)

e c o 教室事業	<p>小・中学生を対象とした環境に関する出張授業を実施する。今年度は対象とする子どもの年齢にあわせた方法で環境ラベルの紹介をして「環境に配慮した商品選択」ができることを伝えた。また、企業から提供された環境ラベル付きの製品やスゴロク形式の教材等をワークショップで使用することで、実践的な授業になるよう工夫した。昨年度作成したノート教材も配布し、学習の一助とした。なお、今年度はセブンイレブン記念財団の環境助成金を利用している。</p>	<p>A) 7月7日、 7月23日 B) 葛飾区立上千葉小学校、船橋市立八木が谷小学校 C) 17名</p>	<p>D) 本授業の受講者 E) 145人</p>	<p>(収入) 0 (支出) 18,025</p>
ソーラーシェアリング推進事業	<p>千葉エコ・エネルギー株式会社（つなぐファーム）と当法人が協同し、ソーラーシェアリングの推進を目的として、ソーラーシェアリング下で育った作物を利用した加工品の製作・販売を始めとした活動を行う。</p>	<p>(A) 4月13日、 9月19日、 9月29日 (B) 千葉県千葉市「父の樹会」など (C) 11名</p>	<p>(D) 未確定 (E) 不特定多数</p>	<p>(収入) 0 (支出) 8,000</p>
三菱みなとみらい技術館イベント事業	<p>小学生を対象とした環境に関するワークショップイベントを実施する。三菱製紙販売株式会社と協同して作成したブックカバー約200枚を配布し、紙漉きとブンブンゴマのワークショップを行うことで、子どもが環境について興味をもってもらえるように工夫した。また、ポスターを展示して大人を中心に当法人の活動紹介をした。</p>	<p>(A) 9月23日 (B) 三菱みなとみらい技術館 (C) 20名</p>	<p>(D) イベント参加者 (E) 144名</p>	<p>(収入) 0 (支出) 46,750</p>

⑤その他、この法人の活動目的を達成するのに必要な事業  
本年度は実施せず。

### 活動計算書

2017年 11月 1日 から 2018年 10月 31日 まで

(単位:円)

うち、収益事業に該当するもののみ  
抜き出して掲載

科 目	金 額			
<b>正味財産増減の部</b>				
<b>I 経常収益</b>				
1. 受取会費		0		
正会員受取会費	0			
賛助会員受取会費	0			
2. 受取寄付金	961,650			
受取寄付金	961,650			
資産受贈益	0			
施設等受入評価益	0			
3. 受取助成金等	0			
受取民間助成金	0			
受取国庫補助金	0			
4. 事業収益	375,881			
環境活動推進事業	375,881			
環境ISO学生委員会活動	188,200		564,081	
5. その他収益	9		9	
受取利息	9		9	
雑収益	0			
<b>経常収益計</b>		<b>1,525,740</b>		<b>564,090</b>
<b>II 経常費用</b>				
1. 事業費				
(1) 人件費				
給料手当	0		0	
法定福利費	0		0	
人件費計	0		0	
(2) その他経費	314,412		314,412	
売上原価	314,412		314,412	
旅費交通費	166,499			
燃料費	1,360			
通信運搬費	3,716			
支払手数料	2,700			
消耗品費	129,111			
広告宣伝費	67,269			
貸借費	64,934			
租税公課	13,160			
雑費	540			
過年度損益修正損	0		0	
その他経費計	763,701		314,412	
<b>事業費計</b>		<b>763,701</b>		<b>314,412</b>
2. 管理費				
(1) 人件費				
給料手当	0		0	
法定福利費	0		0	
人件費計	0		0	
(2) その他経費	12,564			
旅費交通費	12,564			
通信運搬費	2,648			
支払手数料	0			
消耗品費	0			
法人税等	114,200			
減価償却費	1,404			
租税公課	1,800			
過年度損益修正損	0		0	
その他経費計	132,616		0	
<b>管理費計</b>		<b>132,616</b>		<b>0</b>
<b>経常費用計</b>		<b>896,317</b>		<b>314,412</b>
<b>当期経常増減額</b>			<b>629,423</b>	<b>249,678</b>
<b>III 経常外費用</b>				
特別損失	0		0	
<b>経常外費用計</b>		<b>0</b>		<b>0</b>
<b>税引前当期正味財産増減額</b>			<b>629,423</b>	<b>249,678</b>
法人税、住民税及び事業税			0	
<b>当期一般正味財産増減額</b>			<b>629,423</b>	
<b>前期繰越一般正味財産額</b>			<b>1,190,991</b>	
<b>次期繰越一般正味財産額</b>			<b>1,820,414</b>	

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は 1,175,537 円 ですが、そのうち 614,271円 は学内組織としての環境ISO学生委員会活動援助事業に使用される財産です。  
したがって、使途の制約されていない一般正味財産は 561,266円 です。(2017年10月31日時点の残高)

8 植樹里山事業における受取寄付金 -117,018 円の勘定について  
去年度において受け取った千葉県環境財団からの助成金の内、使用しなかった差額 117,018 円を千葉県環境財団に返却しました。

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針及び当委員会における会計処理で特に注意したい箇所

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。  
無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。  
ただし、金額が小さい物品は長期的に使用するものでも購入時に費用として処理しています。(金額の基準としては、一般に税法で定めている10万円)
- (2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理  
施設の提供等の物的サービスを受入れは、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。
- (3) ボランティアによる役務の提供  
役務の提供は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要な役務の提供の内訳」として注記しています。
- (4) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。
- (5) 雑収入(雑益)及び雑損の会計処理(2015年11月から始まる年度より、理事による意思決定を以て方針変更)  
雑収入(雑益)及び雑損の内容をできる限り明らかにすべきという考えより、できる限り具体的な勘定科目を用いて会計処理を行いました。  
例：環境活動推進事業において、参加者に参加特典として給(700円程度)を配布しました。例年は雑費としていましたが、今事業年度以降は「広告販売費」として計上していきます。
- (6) 税務署への申告は、収益事業における当期純利益に関して、損金・益金の調整を行った金額をもとに、税額の算定を行いました。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	一般正味財産								指定正味財産		正味財産		
	標準化教室 (eco教室)事業	榊樹・里山事業	環境活動 推進事業	けやきの子	高尾の森100年 プロジェクト	ソーラーシェア リング推進事業	環境ISO学生委 員会活動	その他の事業	事業部門計	管理部門	環境ISO学生委 員会活動 れじぶー基金	事業部門計	合計
<b>I 経常収益</b>								0					
1. 受取会費								0				0	0
2. 受取寄付金		△ 117,018	655,277					0			305,362	305,362	961,650
3. 受取助成金								656,288				0	0
4. 事業収益			375,881					375,881		188,200		188,200	564,081
5. その他収益								0	6	3		3	9
<b>経常収益計</b>	<b>0</b>	<b>△ 117,018</b>	<b>1,031,158</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>118,029</b>	<b>1,032,169</b>	<b>6</b>	<b>493,565</b>	<b>493,565</b>	<b>1,525,740</b>	
<b>II 経常費用</b>													
<b>(1) 人件費</b>													
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
<b>人件費計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>(2) その他経費</b>													
売上原価								0		314,412		314,412	314,412
開発費								0				0	0
旅費交通費	13,053	19,462	133,120				864	166,499	12,564	0		0	179,063
通信運搬費								0	2,648	3,716		3,716	6,364
広告宣伝費			15,172					15,172		52,097		52,097	67,269
消耗品費								0		129,111		129,111	129,111
研修費								0	0			0	0
支払手数料								0		2,700		2,700	2,700
賃借料	4,432					8,000		12,432		52,502		52,502	64,934
燃料費		1,360						1,360				0	1,360
雑費	540							540				0	540
差入保証金								0				0	0
法人税等								0	114,200			0	114,200
租税公課								13,160		1,800		0	14,960
減価償却費								0		1,404		0	1,404
雑損								0				0	0
過年度損益修正損								0				0	0
<b>その他経費計</b>	<b>18,025</b>	<b>20,822</b>	<b>148,292</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>8,000</b>	<b>14,024</b>	<b>209,163</b>	<b>132,616</b>	<b>554,538</b>	<b>554,538</b>	<b>896,317</b>	
<b>経常費用計</b>	<b>18,025</b>	<b>20,822</b>	<b>148,292</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>8,000</b>	<b>14,024</b>	<b>209,163</b>	<b>132,616</b>	<b>554,538</b>	<b>554,538</b>	<b>896,317</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 18,025</b>	<b>△ 137,840</b>	<b>882,866</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△ 8,000</b>	<b>104,005</b>	<b>0</b>	<b>823,006</b>	<b>△ 132,610</b>	<b>△ 60,973</b>	<b>△ 60,973</b>	<b>629,423</b>

(参考)

資本増減額

629,423

3. 過年度損益修正損の内訳

施設の提供等の物的サービスの受入れの状況は以下の通りです。

(単位:円)

内 容	

4. 活動の原価の算定にあたって必要な役務の提供の内訳

活動の原価の算定にあたって必要な役務の提供の状況は以下の通りです。

(単位:円)

内 容	

5. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は 1,826,544 円 ですが、そのうち 536,728円 は学内組織としての環境ISO学生委員会活動援助事業に使用される財産です。したがって、使途の制約されていない一般正味財産は 1,289,816円 です。(2018年10月31日時点の残高)

(単位:円)

内 容	当期増加額				期末残高	備 考
環境ISO学生委員会活動 援助	△ 60,973				<b>536,728</b>	学内組織としての環境ISO学生委員会活動に係る事業(主にれじぶ一企画)のための資金。
<b>合 計</b>	<b>△ 60,973</b>				<b>536,728</b>	

6. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	取得原価										期末価額	減価償却累計額
有形固定資産												
無形固定資産	14,040	当委員会のドメイン取得費用(1,404円×10年分)。2016年5月に期中取得。月割で減価償却を行う。なお、重要性の原則は、無形固定資産には当てはまらないので(2016年10月9日 千葉東税務署の職員より)、費用として一括処理することはできず、償却資産として扱う。 2015事業年度の減価償却費(2016年5月から2016年10月までの6か月分について減価償却を行った。)計算式: 14,040×(6か月/(12か月×10年))=702円 2016事業年度以降の減価償却費 計算式: 14,040/10年=1,404円									<b>10,530</b>	3,510
投資その他の資産												
<b>合 計</b>	<b>14,040</b>										<b>10,530</b>	<b>3,510</b>

7. 借入金の増減内訳

借入金の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	当期返済										期末残高

8. 植樹里山事業における受取寄付金-117,018 円の勘定について

去年度において受け取った千葉県環境財団からの助成金の内、使用しなかった差額 117,018 円を千葉県環境財団に返却しました。

8. 購入時に費用として計上した、長期的に用いることが想定されている資産  
 購入時に費用として計上した、長期的に用いることが想定されている資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目		計上金額

9. 貸付金の内訳  
 貸付金の内訳は、以下の通りです。

(単位:円)

金額	

10. 過年度損益修正損の内訳  
 過年度損益修正損の内訳は、以下の通りです。

(単位:円)

金額	

11. 助成金の内訳  
 助成金の内訳は、以下の通りです。

(単位:円)

内 容		助成金額	当期受取額	前受助成金



法人名： 特定非営利活動法人 千葉大学環境ISO学生委員会

## 財産目録

2018年 10月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金			
現金	0		
預金(使途が定められていない部分の預金)	1,289,816		
預金(環境ISO学生委員会活動援助事業用)	536,728		
未収入金	20,090		
<b>流動資産合計</b>		<b>1,846,634</b>	
<b>2. 固定資産</b>			
(1)有形固定資産	0		
(2)無形固定資産			
長期前払費用(直接法による減価償却済)	10,530		
(3)投資その他の資産	0		
差引保証金	10,000		
<b>固定資産合計</b>		<b>20,530</b>	
<b>資産合計</b>			<b>1,867,164</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	46,750		
前受助成金	0		
<b>流動負債合計</b>		<b>46,750</b>	
<b>2. 固定負債</b>			
<b>固定負債合計</b>		<b>0</b>	
<b>負債合計</b>			<b>46,750</b>
<b>正味財産</b>			<b>1,820,414</b>

法人名： 特定非営利活動法人 千葉大学環境ISO学生委員会

## 貸借対照表

2018年 10月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
預金	1,826,544		
未収入金	20,090		
流動資産合計		1,846,634	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
車両運搬具	0		
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
長期前払費用(直接法による減価償却済)	10,530		
無形固定資産計	10,530		
(3) 投資その他の資産			
差入保証金	10,000		
事業用預金	0		
投資その他の資産計	10,000		
固定資産合計		20,530	
資産合計			1,867,164
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	46,750		
前受助成金	0		
預り金	0		
流動負債合計		46,750	
2. 固定負債			
役員借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			46,750
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		1,190,991	
当期正味財産増減額		629,423	
正味財産合計			1,820,414
負債及び正味財産合計			1,820,414